

## 目次

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 会員の皆様への会長レポート            | 1  |
| 祝 CFTe の新合格者             | 5  |
| 2011年 日程一覧               | 7  |
| IFTA 会員協会ニュース            | 9  |
| 投稿のお願い                   |    |
| 2012年度 IFTA ジャーナル        | 16 |
| 2012年 IFTA Journal 広告料金表 | 18 |
| IFTA 会員協会                | 19 |
| 理事会名簿                    | 19 |
| IFTA Update 日程           | 19 |

IFTA Update 次号：2012年3月  
原稿提出期限：3月1日  
提出先：[admin@ifta.org](mailto:admin@ifta.org) Linda Bernetich  
UPDATE に広告を掲載すれば、世界中 7,000 名超の IFTA 会員へ届きます。  
詳細については  
[www.ifta.org/publications/newsletter](http://www.ifta.org/publications/newsletter)  
をご覧ください

IFTA UPDATE は、1986年に法人登記された非営利の職能団体、国際テクニカルアナリスト連盟 ([www.ifta.org](http://www.ifta.org)) の刊行物です。

本部  
International Federation of  
Technical Analysts  
9707 Key West Avenue, Suite  
100  
Rockville, MD 20850 USA  
E メール：[admin@ifta.org](mailto:admin@ifta.org)  
電話： +1 240-404-6508

## 会員の皆様への会長レポート

### IFTA 会員の皆様へ

IFTA ウェブサイト開発チームがウェブサイトの強化を完了し、3つの新たなデータベースが追加されたことをお知らせします。我々は、これらのデータベースが世界中の IFTA 会員協会や会員の皆様の役に立つことを望んでいます。

[IFTA テクニカル分析プレゼンテーション・データベース](#)がスタートしました。IFTA はすべての会員協会の皆様に、テクニカル分析のプレゼンテーションや教育資料をお送りいただくよう呼びかけています。それによって他の IFTA 会員協会や会員が、グローバルなテクニカルアナリストのコミュニティの恩恵を享受できるようにしたいと考えています。すべての資料は分野別、著者別に項目付けされています。我々は、このデータベースが IFTA ウェブサイトにおいて、一般的に検索可能なリソースとして急速に成長していくことを期待しています。自分のプレゼンテーションがこのデータベースに掲載されることを希望される IFTA 会員の方は、自国の IFTA 会員協会に連絡して承認を得るとともに、IFTA アドミニストレーションにもご連絡下さい。

[IFTA テクニカルアナリスト・データベース](#)は、世界的な資格を持つテクニカルアナリストの記録を提供するために創設されました。このデータベースに掲載するためには、CFTe あるいは同等の IFTA 会員協会の試験に合格している必要があります。このデータベースの目的は、雇用者が採用候補者のテクニカル分析資格を確認できるようにすることです。個人は自分のデータを確認することができますので、自分の資格がグローバル TA データベースに正しく反映されていないと思われる方はご連絡下さい。

[IFTA テクニカル分析講師データベース](#)は、このテーマの講師、プレゼンターとしての仕事を求める IFTA 会員の方々のお手伝いをするために創設されました。各エントリーは専門とする分野によってデータに項目付けされています。IFTA 会員協会や関連グループは研修や会員のミーティングのための専門の講師、スピーカーをより容易に検索できるものとなることを望んでいます。このデータベースへの掲載を申し込むには、IFTA 会員協会の承認を得ることが必要になります。希望される方は、自国の IFTA 会員協会と IFTA アドミニストレーションにご連絡下さい。

IFTA サラエボ大会は世界中からの参加者の皆様に大いに楽しんでいただくことができました。例年通り、多くの著名なスピーカーの方々をお招きし、タイムリーかつ示唆に富むテーマが議論されました。

## 会長レポートのつづき

第1回の IFTA の大会は 1988 年に東京で開催され、それ以来南北アメリカ大陸とヨーロッパのさまざまな都市、さらに最近ではエジプトで開催されています。過去 25 年間で金融市場もテクニカルアナリストも大きな変化と新しいチャレンジを経験してきました。

例えば 1980 年代後半に第 1 回大会が計画されていた時には、社会主義終焉後の戦争による破壊を経たサラエボ(ボスニア・ヘルツェゴビナ)で、第 24 回大会が開催されることになるとは誰が想像できたでしょうか。この大会が大きな成功を収め、ヨーロッパの新興地域でテクニカル分析が注目されるきっかけになったことを嬉しく思います。サラエボのボスニア・ヘルツェゴビナ協会(SMS)と IFTA 大会チームの多くの人々の、過去 12 ヶ月にわたる多大な努力がなければ、大会の成功はなかったでしょう。サラエボでのプレゼンテーションは、近年開発された新しい方法やテクニックのいくつかと、それらのポートフォリオ分析、投資管理、リスクコントロールへの適用に焦点を当てました。これらのトピックについて参加者は世界中から集まったテクニカルアナリスト、規制関係者および業界プロフェッショナルの講演に耳を傾け、またスベチャリスト・ワークショップに参加しました。講演以外にも、参加者の皆様が会期中にスピーカーと、あるいは参加者同士で交流できる多くの機会が設けられました。また古都サラエボの歴史と名所を楽しめるソーシャルイベントもいくつか実施されました。

今回の IFTA 大会は 2012 年後半にシンガポールで開催されます。IFTA 理事ロバート・グリッグ率いる大会チームは既に、シンガポール・テクニカルアナリスト協会(TASS)のワン・タオ会長と共に、2012 年大会を成功に導くための準備を始めています。

2012 年大会で取り上げてほしいテーマ、招いてほしいスピーカーなどあればご連絡下さい。

IFTA2011年度年次総会もサラエボで開催されました。年次総会は IFTA の最高の管理機関であり、その指示に従って理事会が IFTA の日々の活動を運営します。今年の年次総会では、ベルリンでの前回の総会における決定に沿って、新しい IFTA 副定款が可決されました。この重要なコーポレートガバナンス文書の改訂は、世界中のすべての IFTA 会員協会の意見や提案を集約する必要があり、大変な作業でした。このプロジェクトに関わったすべての人と、最終文書をテクニカルアナリスト協会のグローバル・コミュニティを真に代表するものとするために多くの時間を割いて下さった会員協会の皆様に深く感謝します。

2011年度年次総会では、IFTA 理事会に3人の新しい理事が選ばれました。理事全員の情報は IFTA ウェブサイトで閲覧できますが、新しく選任された理事の方々をご紹介します。

ジャネット・ヤングは、1981 年にウォール街の Thomson McKinnon Securities でキャリアを開始して以来の、ウォール街のプロフェッショナルです。「ナショナル・インベストメント・チャレンジ」では、プロ・オプション部門で世界第 3 位を獲得。ポートフォリオ・マネジメント、シンジケーション、オプション・ストラテジスト、ヘッジャー、オペレーション・プリンシパル、ボンド・プリンシパル、ピット・トレーダー、マーケット・トレーダー等の多彩なキャリアを持ち、以前は NYBOT (ニューヨーク商品取引所)に勤務。ICE、COMEX、シカゴ証券取引所、NASDAQ OMX、NYSE-LIFFE 会員。アデルフィ大学で学士号・修士号を取得。

MTA の CMT プログラム・ディレクターで、AAPTA の会長・ディレクターでもあります。

ジャネットには IFTA 理事会で、テクニカル分析試験の開発・運用に関する豊富な経験を生かして、IFTA の CFTe 試験プログラムのさらなる開発に取り組んでいただきます。シラバス(試験要綱)・試験・認定担当理事との緊密な協力により、IFTA の試験のクオリティとコスト効率のさらなる向上を目指します。

ロバート・グリッグは Crystal Blue (Aust) Pty Ltd のディレクター兼投資マネージャーとして、ファミリーベースの投資ファンドの運用を行っています。またコンサルティング会社 CQL Pty Ltd のディレクターも務めており、現在はアルゴリズム取引システムのデザイン、構築、最適化の助言を行っています。以前は石油業界のシェル・グループに勤務、その後 KPMG などで企業コンサルティングに従事。テクニカルプログラマー、アナリスト、シニアマネージャー、マネジメント・アカウンタントとして情報技術(IT)に関わってきました。スウィンバーン大学卒業の公認会計士で、オーストラリア・テクニカルアナリスト協会(ATAA)のディレクター、ナショナル・プレジデントを務めています。

IFTA 理事会でのロバートの最初の仕事は、IFTA2012 年大会の大会ディレクターです。彼には、ATAA でさまざまな会議を開催し成功させてきた豊富な経験があります。また IFTA 監査委員会の委員にも任命されており、経理のスキルでも IFTA に貢献してくれるでしょう。

Klaus Wobbe は金融ソフトウェア開発および資産運用を行う INTALUS 企業グループの創立者で社長。

### 会長レポートのつづき

その前は、ブレーメン(ドイツ)の金融ソフトウェア開発会社 Tradesignal の社長で、ザンクトガレン(スイス)の Lenth, Stadler, Wobbe Finanz AG の取締役会メンバーでもありました。1980年代初めにはドレスナー銀行に勤務。ブレーメン大学で経済学の学士号、ブレーメン経済評議会からマーケティングの学位を得ています。VTAD (ドイツ・テクニカルアナリスト協会)の共同創立者でメンバー、英国テクニカルアナリスト協会(STA)のメンバーでもあります。

IFTA理事会では、事業開発の知識を生かし、IFTAのコミュニケーションおよびマーケティング戦略のさらなる開発に取り組んでいただきます。さらに副会長—ヨーロッパにも就任、この地域のIFTA会員協会を代表して、その活動を支援します。

この機会に、退任される理事の方々の任期中のIFTAへの貢献にお礼申し上げます。今年、長年IFTA理事を務め、最近では2011年大会担当理事、また2007～2009年に会長を務めたエレイン・クヌースが理事を退任しました。また長年理事を務めたジュリアス・ケンペナルとアントネッラ・サバティエーニ(ともに一般理事)も今年の年次総会で退任しています。IFTA理事会、また全会員協会を代表して、彼らの長年のハードワークと思慮深い助言に感謝したいと思います。

理事会は2012年に、CFTE試験の内容・効率の向上と普及促進、内部手続きの開発、IFTAの財政のさらなる改善、新しいウェブサイトへのコンテンツの追加に力を入れていく所存です。

今後IFTA UPDATEの各号でこれらの点について好ましい進展をご報告できると期待しています。

テクニカル分析のプレゼンテーションを共有したい、あるいはテクニカル分析の講師を希望される方は、自国の会員協会またはIFTAアドミニストレーションまでご連絡下さい。ウェブサイトの価値は、そのコンテンツの質と量で決まります。ウェブサイトが世界中のIFTA会員の皆様にとって有用なリソースとなるよう、データベースの迅速な充実にご協力をお願いします。

アダム・ソラブ  
IFTA 会長

### 祝 CFTEの新合格者!

Yohann Bouslama, AFATE  
Julien Camberlin, AFATE  
Claudie Mambwe Chipwata, STA  
Philippe Delabarre, Non-Member  
Mohamed Mohsen El Mahroky, ESTA  
Mohamed Abdel Hamid Elkattab, ESTA  
Mohit Gaba, STA  
Markus Hübner, VTAD  
Claudia Jankewitz, VTAD  
Yoann Le Coz, AFATE  
Richard Leow, TASS  
Menicos Louca, STA  
Dipl.-Inform. (Univ.) Clemens Max, VTAD  
Steeve Nivault, AFATE  
Ozkan Ozkaynak, STA  
Purnomo Hardjo Prakoso Sudjono, TASS  
Jaromir Vomacka, TASSA  
Ian Charles Flack, ATAA  
John Phillip Flynn, ATAA  
Kyriakos Charilaou, STA  
Richard Thomas Clarke, STA  
Henrik Baranovski Mikkelsen, STA  
Douglas Michael Sharp, STA  
Richard Teale, STA  
Hsiang Yeow Wong, STA

## IFTA 会員協会ニュース



### AATI(インドネシア・テクニカルアナリスト協会)

AATIは会員のCFTeプログラムへの参加準備を助けるとともに、戦略的機関投資家へのテクニカル分析の広報活動に引き続き取り組んでいます。

2008年の金融危機に伴う市場混乱、2011年の市場の激動を経て、テクニカル分析はインドネシアでポピュラーになりつつあります。ほぼすべての経済紙がテクニカル分析による市場見通しを掲載していますし、テクニカル分析を報じるテレビ番組も増えてきました。翻訳書だけでなく、インドネシア語で書かれたテクニカル分析の本が出版されています。インドネシアの数都市でテクニカル分析のセミナーや研修が行われています。

ジャカルタで初めてのCFTeの検定試験が行われてから3年が経ちますが、テクニカル分析の専門家による受験はごくわずかにとどまっています。現在、AATIにはCFTeが1人しかいません。今年は、数人の候補者に資格取得へのサポートをしていく計画です。それによってより良いプロフェッショナルなテクニカル分析を広めていきます。

一方で、AATIはテクニカル分析への理解ある良好な環境と、テクニカルアナリストがインドネシア金融業界に貢献できる最良の雰囲気創造するため、戦略的機関投資家へのテクニカル分析の広報活動を続けています。



聴衆に歓迎の言葉を述べるAATIの共同創立者、インデラハディ・A・クスマー氏。



AATIの書記、ギデオン・ラビアン氏による「戦術的資産配分へのテクニカル分析アプローチ」のプレゼンテーション。



テクニカルアナリストが今後直面するであろう機会とチャレンジについてAATI会員に話すユスフ氏。



AATI会員にIFTAを紹介し、IFTA大会に参加した経験を語るギデオン・ラビアン氏。



AATI会員として初めてCFTe資格を取得したムハマド・アルファティ氏が、受験を希望する会員にCFTeプログラムについて説明。



CFTe受験に関心を示すAATI会員たち。





CFTe 受験に関心のある会員のための第2回会合

### AATROM(ルーマニア)

AATROM は 12 月 7 日、初めてのオンラインセミナー「平均足：短期集中コースとトレーディングへの応用」を開催しました。

### AFATE(フランス)

理事会は Cyril Baudrillart 氏 (CFTe) を新会長に選びました。同氏はかつて Exane BNP Paribas に勤務、現在は BBSP パートナーズの著名なストラテジストです。

AFATE は過去 1 年間で 10 のワークショップ、2 度のカンファレンス、2 度の半日「大学」(それぞれ 3 回のカンファレンス)を開催しました。毎回平均 50 人が参加するワークショップは、現在の回数(年 10 回)を維持していく計画ですが、カンファレンスは開催コストがかさむため、回数を減らす予定です。また学術方面にも力を入れ、キャンパスでの活動の回数を増やす計画です。

AFATE は STA との合意に基づき、テクニカル分析の DVD を会員向けに販売する計画を進めるとともに、近い将来それをフランス語に翻訳することも検討しています。会員数は 2010 年の 229 人から 2011 年は 214 人と、ほぼ横ばいでした。2009 年と比べると大きく増加(+34%)しています。

### LSTA(レバノン)

レバノン・テクニカルアナリスト協会 (LSTA) はレバノン当局の承認を受け、2011 年 3 月、非営利団体としてスタートしました。最初の執行委員会は、FOREX デイリンググループを担当する銀行家、プライベートバンカー、投資銀行の有力者、そしてプライベートセクターの投資家など、以下の 7 人の委員で発足しました。

Mr. Gregoire Azar, 会長  
-BLOM BANK SAL

Mr. Eduardo Fakhoury, 副会長  
-CREDIT FINANCIER  
INVEST SAL

Mr. Imad Bitar, 財務担当  
-BYBLOS BANK SAL

Mr. Georges Homsy, 書記長  
-CREDIT LIBANAIS SAL

Mrs. Manal Bteich Karam, 執行委員  
-BLOMINVEST BANK SAL

Miss Judy Karam, 執行委員  
-THOMSON REUTERS INC

Mr. Mario Kfoury, 執行委員  
-個人投資家

発展途上の協会として、LSTA には現在 37 人のアクティブメンバーがおり、日々成長を続けています。本部は首都ベイルートの中心部、中東有数のビジネススクール ESA (Ecole Superieure des Affaires) のキャンパスにあります。LSTA は 2011 年 5 月、ESA と正式なパートナーシップ契約を締結しました。ESA のキャンパスは非常に恵まれた立地にあり、レバノン中央銀行とフランス教育省が出資しています。中東で高く評価されている ESA は、レバノンの銀行業界で必須の資格である BFQ (Banking Financial Qualification) を授与する唯一の大学です。



発足以来、LSTA はテクニカル分析の普及促進、レバノンのディーラー/トレーダー、デイリンググループの責任者、そのクライアント(個人投資家)への、LSTA 加盟のメリットの説明を中心に活動してきました。



LSTA では既に 3 月以来 9 回の定例会議(ほぼ毎月)を開催しました。メインテーマはマーケット・プレゼンテーション、予測、さまざまなテクニカル分析手法の紹介—ディスカッションと友好的な議論を通じてのメンバー間の交流と協力の促進です。

さらに ESA キャンパスで、CFTe 受験準備を目的とする LSTA 会長 Gregoire Azar による初めてのテクニカル分析講座が 2011 年 10 月下旬にスタートしました。3 つの小委員会(教育、コミュニケーション、イベント)が設置され、毎回の定例会議後にニュースレターの発行を開始しました。

最近数週間で、LSTA 執行委員はレバノン銀行業界へのテクニカル分析の導入と友好関係の確立を目指して、銀行・金融業界のさまざまな有力者、レバノン中央銀行の銀行規制委員会の著名なメンバーで高等銀行会議のメンバーである人物、

アラブ取引所連盟の事務局長を訪問しました。アプローチは成功し、彼らは当協会の高潔な任務への協力を約束してくれました。

LSTAは現在、創立1周年と総会の準備を進めています。銀行・金融業界の有力者、プロフェッショナルや個人投資家が集う大きなイベントです。(ESTAのASHRAF会長の協力を得て)IFTAからゲストやスピーカーを招く計画です。メンバーのための双方向のブログがあるLSTAの新ウェブサイト([www.lstalebanon.com](http://www.lstalebanon.com))もスタートしました。

LSTAはこれまでの成果を誇りに思い、2012年もさらに努力を重ねます。IFTA 会員協会の皆様にも、LSTAの今後のプロジェクトについて詳しくお知らせしていきます。

会長 Gregoire Azar

**STAP(パキスタン)**

STAP カンファレンスの写真から抜粋



**MFTA**

IFTA Master of Financial Technical Analysis

## 【国際検定テクニカルアナリスト (MFTA) プログラム】

IFTA の国際検定テクニカルアナリスト (MFTA) は、受験者が高度な専門性を有しているかどうかをテクニカル分析の専門家によって審査・認定するものです。CFTe (Certified Financial Technician) または同等の資格保有者であれば、だれでも MFTA に応募することができます。資格保有者には以下が含まれます。

- ・ 日本テクニカルアナリスト協会 (NTAA) から CFTe (2 次試験合格) の認定を受けた者
- ・ オーストラリア・テクニカルアナリスト協会 (AATA) からテクニカル分析のディプロマ (Dip.TA) を取得した者
- ・ エジプト・テクニカルアナリスト協会 (ESTA) から ESTA テクニカルアナリストプログラム (CETA) の修了証を取得した者

MFTA は独自の研究を対象としています。テクニカル分析の世界的基準に照らして高度なプロフェッショナリズムを証明する必要があります。

上記の正式な資格は持たないもののテクニカルアナリストとしての他の資格や長年の経験を有する IFTA 個人会員のために、認定委員会では「特例」を設けております。学問または実務の面でテクニカル分析に深くかかわってきた実績を持つものであれば、CFTe 保有者でなくても MFTA への応募が認められます。

以下の 3 つの条件のいずれかに該当していれば、MFTA への応募が可能です。

- ・ Certified Market Technician (CMT) の資格、STA (テクニカルアナリスト協会) のディプロマなど、CFTe 以外のテクニカルアナリストの資格を持ち、かつ、テクニカルアナリストとして 3 年以上の経験を有すること。
- ・ CFA 協会認定の証券アナリスト (米国証券アナリスト) (CFA)、公認会計士 (CPA)、経営学修士 (MBA) など、CFTe 以外の証券関係の資格を持ち、かつ、テクニカルアナリストとして 5 年以上の経験を有すること。
- ・ テクニカルアナリストとして 8 年以上の経験を有すること。

これらの要件を満たす候補者は、「特例」として出願することができます。出願が認められると、MFTA コースに登録し、論文の概要を提出できます。

### 論文の基準

MFTA を修了しディプロマを取得するには、3,000~5,000 ワードの研究論文を完成する必要があります。この語数のほかに図表やグラフなどを追加することができます。

論文は以下の基準をすべて満たしていなければなりません。

- ・ 独自の研究であること。
- ・ 理由づけされた論理的な議論が展開され、かつ、妥当な結論が導かれており、それを裏付けるテスト、研究、分析が論文に含まれていること。
- ・ 実用的な研究テーマであること。
- ・ 世界的なテクニカル分析に知見をもたらすものであること。

### 日程

MFTA は以下のスケジュールで年 2 回 (2 セッション) 行なわれます。

#### セッション 1

「特例」出願期限 2 月 28 日  
出願、論文概要、費用支払い期限 5 月 2 日  
論文提出期限 10 月 15 日

#### セッション 2

「特例」出願期限 7 月 31 日  
出願、論文概要、費用支払い期限 10 月 2 日  
論文提出期限 翌年 3 月 15 日

### コース登録

詳細と登録については、<http://www.ifta.org/certifications/master-of-financial-technical-analysis-mfta-program/> をご覧ください。

### 費用

IFTA 個人会員 900 米ドル  
非会員 1,100 米ドル

**IFTA**

International Federation of Technical Analysts



## 投稿のお願い 2013年度 IFTA ジャーナル

IFTA ジャーナルは、国際テクニカルアナリスト連盟が発刊した優れた年刊物です。IFTA 個人会員からなる委員会において編集しています。IFTA ジャーナルは、あらゆる領域で活躍するテクニカル分析の学者、学習者、実務家にとって必須の読みものです。テクニカル分析に関心を持つすべての人にとって、豊かな内容を持つ優れた情報源です。

### 信頼と認知

IFTA ジャーナルは、グローバルな市場におけるテクニカル分析の発展を題材として扱う唯一のテクニカル分析の国際誌であり、全大陸からオリジナルの原稿が寄せられています。本誌は、世界中の一流級の実務家や研究者が手にします。

書籍の形式に製本されている IFTA ジャーナルは、メジャーな専門資料です。本誌が IFTA のウェブサイト上でオンライン出版されると、お寄せいただいたオリジナル原稿が、将来の情報資源としてテクニカルアナリストのグローバル・コミュニティに届くこととなります。2013 年度版は 10,000 部が出版され、全世界に配布されます。

### トピック

IFTA では、テクニカル分析の分野に直接または間接的に影響を与える出来事を紹介する原稿を募集しています。例えば、次のような分野が対象です。

- ・ 基本的な市場分析手法
- ・ 指標—センチメント、出来高分析、モメンタム、その他

- ・ グローバルおよびイントラグローバルなテクニカルアナリスト
- ・ テクニカルアナリストのスタイル
- ・ データ
- ・ 投資の世界におけるテクニカルアナリストの役割変化

特に、以前検討された例のない分野を対象とする寄稿やテクニカル分析に付随するトピックを募集しています。

上記リストは指針に過ぎず、決してこれらに限定されません。テクニカルアナリストのあらゆる領域およびそれと関連する分野から、新しく画期的なアイデアを取り込むことのできるジャーナルにしたいと願っています。

### 寄稿の方法

登録および寄稿は [www.ifta.org](http://www.ifta.org) から、または編集者のレジーナ・ミーニ [rcjmeani@idx.com.au](mailto:rcjmeani@idx.com.au) まで E メールでお願いします。

### 言語

原稿は必ずイギリス英語でお願いします。

### 文体

論文スタイルでお願いします。下記のリンクを参考にして下さい。

### 参照先

原稿で言及する文献はすべて、文献目録と後注で出典先を適切に示して下さい(脚注は不可)。

下記の指針に従って下さい。  
<http://www.cse.unsw.edu.au/~gernot/style-guide.html%20>

参考文献と引用の正確を期することは、著者の責任です。

参考文献と引用については、提出前に著者が十分にチェックして下さい。

参考文献はすべて後注として下さい。

参考文献または文献目録を別途のリストとして提出しないで下さい。

### 図、チャート、表

イラストとチャートには、通し番号 (Figure xx) を付け、出典 (引用の場合) を記して下さい。

表には表番号 (Table xx) を付け、出典を記して下さい。

### 原稿の長さ

原稿は約 1,200~3,000 ワードの本文に裏付けとなるグラフやチャートを添えて下さい。

### 形式

MS ワードまたはその他のテキスト形式でお願いします。PDF 形式は不可です。チャートとグラフは gif または jpeg 形式でも構いませんが、印刷用として必要となる場合が考えられますので、tif 形式でも保存しておかれるようお願いします。原稿を裏付けるために Excel のスプレッドシートを添えていただいても結構です。



**編集スケジュール**

- 1月28日 「論文募集」を配布
- 5月31日 すべての原稿の締切
- 5月31日 査読のために配布
- 7月29日 査読者からのコメントが編集者に
- 8月15日 採否の通知
- 8月29日 印刷原稿の提出
- 2012年10月 印刷版の出版、世界中に配布
- 2012年12月 ウェブ出版

**ライセンスおよび著作権**

原稿は本ページ下にある『出版契約』の著者署名とともに提出して下さい（『出版契約』をご覧ください）。

ウェブサイトで開催する場合があります。他のライセンスの言及がない場合、提出いただいた原稿は本ライセンスの対象となります。

**原稿の選定**

原稿は、内容に基づいて IFTA ジャーナル編集委員会が選定します。

すべての原稿を採用することはできませんので、あらかじめご了承ください。原稿の数と質、および編集者の裁量によっては、選定結果を交渉にて変更できない場合がございます。

**報酬**

国際テクニカルアナリスト連盟はボランティアによって組織、運営され、会員協会によって支えられています。原稿料をお支払いすることはできません。どうかご理解賜りますようお願い申し上げます。

**質問**

詳細については、[journal@ifta.org](mailto:journal@ifta.org)までお問い合わせ下さい。

**出版契約**

以下は、著者（および共著者）

が執筆した原稿

について、著者（および共著者）と国際テクニカルアナリスト連盟の間で締結される契約である。

**著者の権利付与**

著者（および共著者）は出版者に当該著作の排他的最優先出版権を付与し、また、その他の方法で、著作権が有効な期間、あらゆる媒体を使用して、あらゆる言語で、世界中で当該著作を使用する非排他的ライセンスを付与する。

出版者は当該原稿を IFTA ジャーナルに発表することに同意する。

出版者は原稿に、「著作権は（著者（および共著者）の氏名）に帰属します」との表記を含めるものとする。原稿の読者は、著作権所有者の許可を得ずに複製を作成することができる。ただし、複製に著者と出版者の名前が明記され、複製が非営利の教育目的に使用される場合に限る。

**著者（および共著者）に帰属する著作権の所有権**

原稿の著作権は、引き続き著者（および共著者）に帰属する。

**原作者の保証**

著者（および共著者）は出版者に対し、原稿がオリジナルであり、自身が単独の著者（および共著者）であり、本契約を結ぶ全権を有することを保証する。著者（および共著者）は、当該保証の一切に関して、一切の申し立てまたは訴訟の最終判決後に、出版者に対し、損失およびその他の経費のすべてを補償する。かかる経費には、妥当な弁護士費用が含まれる。

著者（および共著者）名

著者（および共著者）署名 日付

承諾いただけましたら、『出版契約』の必要事項をすべてご記入の上、ファクスまたは E メールにて下記までご送信下さい。IFTA Headquarters、(ファクス) +1 301-990-9771 または (E メール) [admin@ifta.org](mailto:admin@ifta.org)

IFTA 会員協会

- ARGENTINA—AAAT** [www.aaat.org.ar](http://www.aaat.org.ar)  
Asociacion Argentina de Analistas Tecnicos
- AUSTRALIA—ATAA** [www.ataa.com.au](http://www.ataa.com.au)  
Australian Technical Analysts Association
- AUSTRIA—VTAO\*** [www.vtao.at](http://www.vtao.at)  
Vereinigung Technischer Analysten Österreichs
- BOSNIA and HERZEGOVINA—SMS\*** [www.trzisnestudije.org](http://www.trzisnestudije.org)  
Society for Market Studies
- CANADA—CSTA** [www.csta.org](http://www.csta.org)  
Canadian Society of Technical Analysts
- CROATIA—CTAA\***  
Croatian Technical Analysis Association
- CZECH REPUBLIC—CNATA\*** [www.cnata.cz](http://www.cnata.cz)  
Czech National Association of Technical Analysts
- EGYPT—ESTA** [www.estaegypt.org](http://www.estaegypt.org)  
Egyptian Society of Technical Analysts
- FRANCE—AFATE** [www.afate.com](http://www.afate.com)  
Association Française des Analystes Techniques
- GERMANY—VTAD** [www.vtad.de](http://www.vtad.de)  
Vereinigung der Technischer Analysten Deutschlands e.V.
- INDIA—ATA** [www.taindia.org](http://www.taindia.org)  
The Association of Technical Analysts
- INDONESIA—AATI**  
Asosiasi Analis Teknikal Indonesia
- ITALY—SIAT** [www.siat.org](http://www.siat.org)  
Società Italiana di Analis Tecnica
- JAPAN—NTAA** [www.ntaa.org.jp](http://www.ntaa.org.jp)  
Nippon Technical Analysts Association
- KUWAIT—KWTAA\*** [www.kwttaa.org](http://www.kwttaa.org)  
Kuwait Technical Analysis Association
- LEBANON—LSTA\***  
Lebanese Society of Technical Analysts
- NIGERIA—STAN\***  
Society for Technical Analysts, Nigeria
- NETHERLANDS—DCTA**  
Dutch Commission of Technical Analysis
- NEW ZEALAND—STANZ** [www.stanz.co.nz](http://www.stanz.co.nz)  
Society of Technical Analysts of New Zealand
- PAKISTAN—STAP\***  
Society of Technical Analysts Pakistan
- ROMANIA—ATROM** [www.aatrom.org](http://www.aatrom.org)  
Asociatia Analistilor Tehnici din Romania
- RUSSIA—RSTA**  
Russian Society of Technical Analysts
- SAUDI ARABIA—SSTA\*** [www.saudi-sta.org](http://www.saudi-sta.org)  
Saudi Society of Technical Analysts
- SCANDINAVIA—STAF** [www.staf.nu](http://www.staf.nu)  
Skandinaviens Tekniska Analytikers Förening
- SINGAPORE—TASS** [www.tass.org.sg](http://www.tass.org.sg)  
Technical Analysts Society (Singapore)
- SOUTH AFRICA—TASSA** [www.tassa.org.za](http://www.tassa.org.za)  
Technical Analysts Society of Southern Africa
- SPAIN—AEAT** [www.aeatonline.com](http://www.aeatonline.com)  
Asociación Española de Analistas Técnicos
- SWITZERLAND—SAMT** [www.samt-org.ch](http://www.samt-org.ch)  
Swiss Association of Market Technicians
- UNITED KINGDOM—STA** [www.sta-uk.org](http://www.sta-uk.org)  
Society of Technical Analysts Ltd.
- UNITED ARAB EMIRATES—MEA-MA** [www.mea-ma.com](http://www.mea-ma.com)  
Middle East & Africa Association
- USA—TSAASF** [www.tsaasf.org](http://www.tsaasf.org)  
Technical Securities Analysts Association
- USA—AAPTA** [www.aapta.org](http://www.aapta.org)  
American Association of Professional Technical Analysts

\* Developing

理事會

- President**  
Adam Sorab, CFTe, MSTA (STA)  
Email: [Adam.Sorab@cqsm.com](mailto:Adam.Sorab@cqsm.com)
- Vice-President—the Americas**  
Timothy Bradley (TSAASF)  
Email: [timb@dynamictradingmgt.com](mailto:timb@dynamictradingmgt.com)
- Vice-President—Europe**  
Klaus Wobbe (ITAD)  
Email: [klaus.wobbe@ifta.org](mailto:klaus.wobbe@ifta.org)
- Vice-President—Asia**  
Taichi Otaki (NTAA)  
Email: [office@ntaa.or.jp](mailto:office@ntaa.or.jp)
- Vice-President—Middle East, Africa**  
Mohamed Ashraf Mohfauz, CFTe, CETA (ESTA)  
Email: [mohamed.ashraf.esta@gmail.com](mailto:mohamed.ashraf.esta@gmail.com)
- Treasurer**  
Michael Steele (AAPTA)  
Email: [mike@steeleinvestment.com](mailto:mike@steeleinvestment.com)
- Secretary**  
Saleh Nasser, CMT (ESTA)  
Email: [snaser@link.net](mailto:snaser@link.net)
- Education Director (Academic & Syllabus)**  
Journal Director  
Rolf Wetzer (SAMT)  
Email: [rolf.wetzer@ifta.org](mailto:rolf.wetzer@ifta.org)
- Accreditation Director**  
Roberto Vargas, CFTe (STA)  
Email: [roberto.vargas@ifta.org](mailto:roberto.vargas@ifta.org)
- Examination Director**  
Gregor Bauer, Ph.D. (VTAD)  
Email: [gregor.bauer@ifta.org](mailto:gregor.bauer@ifta.org)
- Membership Director**  
Dan Valcu, CFTe  
Email: [dan.valcu@ifta.org](mailto:dan.valcu@ifta.org)
- Conference Director**  
Robert Grigg (ATAA)  
Email: [robert.grigg@ifta.org](mailto:robert.grigg@ifta.org)

DIRECTORS AT LARGE

- David Furcagj, CFTe, MFTA (AFATE)  
Email: [david.furcagj@ifta.org](mailto:david.furcagj@ifta.org)
- Akira Homma, CFA, CIIA, CFTe, FRM (NTAA)  
Email: [ahomma.nettai@gmail.com](mailto:ahomma.nettai@gmail.com)
- Regina Meanl, CTFe (STA, ATAA)  
Email: [rjcmearni@dx.com.au](mailto:rjcmearni@dx.com.au)
- Jeanette Young (AAPTA)  
Email: [jeanette.young@ifta.org](mailto:jeanette.young@ifta.org)

STAFF

- Executive Director**  
Beth W. Palys, CAE
- Vice President, Meetings**  
Grace L. Jan, CMP, CAE
- Member Services Manager**  
Linda Bernetch
- Senior Graphic Designer**  
Jon Benjamin
- Production Manager**  
Penny Willocks
- Accounting**  
Dawn Rosenfeld

IFTA UPDATE 刊行予定

『IFTA UPDATE』は国際テクニカルアナリスト連盟が年4回刊行する電子版のニューズレターで、世界中の7,000人以上のIFTA会員に配布されています。『IFTA UPDATE』は、IFTAの会員協会や個人会員とのコミュニケーションを図るのに効率的で費用効果に優れた手段です。

刊行予定

- 春号 (広告提出締め切り 2012年3月1日)  
夏号 (広告提出締め切り 2012年6月1日)  
秋号 (広告提出締め切り 2012年9月1日)  
冬号 (広告提出締め切り 2012年12月1日)

詳細及び広告掲載は、IFTA ウェブサイト  
<http://www.ifta.org/publications/newsletter/>をご覧ください。

IFTA HEADQUARTERS

International Federation of Technical Analysts  
9707 Key West Avenue, Suite 100  
Rockville, MD 20850 USA  
Phone: +1 240-404-6508  
Fax: +1 301-990-9771  
Email: [admin@ifta.org](mailto:admin@ifta.org)